

【開催要項】

地域生涯学習活動実践交流セミナー

研究テーマ 「人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方」
～ 行政間連携と地域住民との協働に向けた方策について ～

1 趣 旨

本道における生涯学習活動の一層の推進を図るため、実践事例の交流等を通し、北海道における生涯学習活動推進上の課題解決を図る。

2 主 催

北海道立生涯学習推進センター 北海道社会教育主事会協議会

3 会 場

道民活動センタービル「かでの2・7」 かでのホール他

4 期 日

平成29年2月16日(木)～17日(金) 2日間

5 対 象

市町村・市町村教育委員会職員、各種審議会委員(社会教育委員・生涯学習審議会委員等)
生涯学習関連施設職員、社会教育関係団体職員、民間団体(NPO、ボランティア、企業等)関係者、生涯学習実践者等

6 定 員

200名

7 内 容

(1) 説明・報告

本研修会の趣旨説明及び北海道立生涯学習推進センター調査研究の報告

(2) 講義

人口減少を背景とした地方創生の時代における地域づくり等について、全国の事例を紹介していただくとともに、今後の社会教育行政の方向性について講義していただきます。

講師 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター専門調査員 尾山 清龍 氏

(3) 報告

各ブロックにおける2年間の取組の成果・課題について共有します。

報告者 道央ブロック 干場 雅矢 氏(後志管内仁木町)

道南ブロック 調整中

道東ブロック 和田 康弘 氏(根室管内中標津町)

道北ブロック 柴田 圭 氏(宗谷管内礼文町)

(4) 事例研究

地域づくりの担い手として活躍されているNPO活動関係者から実践内容を報告していただきます。

講師 NPO法人グラウンドワーク西神楽理事 谷川 良一 氏

NPO法人炭鉱の記憶推進事業団理事長 吉岡 宏高 氏

(5)(6) 分科会 1日目～2日目 ※第1～第7分科会

人口減少問題に対応する地域の担い手を育成する上で、「地域を好きになる学び」「行動を促す学び」「地域を創る学び」を提供するため、行政間連携と地域住民との協働をどう進めるかについて、協議します。

・1日目/事例発表20分×2事例、協議1(100分)

・2日目/協議2(90分)

分科会	テーマ・事例		対 象
第1	テーマ	「地域を好きになる学び」を考える ～地域の担い手の「入り口」として～	全参加者
	事例①	「子どもたちが地域をもっと好きになるために」 ～様々な機関と連携した青少年宿泊体験事業「うらかわサマーキャンプ2016について」～ 発表者/日高管内浦河町 橋本 恭宏 氏	
	事例②	「地域での学びをどのように作っていくか」 ～釧路町子ども会にみる既存団体の変革～ 発表者/釧路管内釧路町 江端 邦仁 氏	
第2	テーマ	「行動を促す学び」を考える① ～住民が当事者意識を持つために～	※第1～第4分科会については、定員50名、先着順とさせていただきます。
	事例①	「佐呂間町子育て講座について」 ～地域との協働による家庭教育支援の取組～ 発表者/オホーツク管内佐呂間町 杉山 沙織 氏	
	事例②	「学校・家庭・地域との協働」 ～子ども朝活の実践から～ 発表者/石狩管内北広島市 古内 誠也 氏	

第3	テーマ	「行動を促す学び」を考える② ～住民が当事者意識を持つために～	全参加者 ※第1～第4分科会については、定員50名、先着順とさせていただきます。
	事例①	地域を再発見！～宗谷管内ジュニアリーダー養成の取組～ 発表者／宗谷管内稚内市 大沼 拓哉 氏	
事例②	住民との協働による図書館運営と図書館員・ボランティア情報交流会について ～ニセコ町あそびっくの運営と行政間連携・人材育成の取り組み～ 発表者／後志管内ニセコ町 樋口 範幸 氏		
第4	テーマ	「地域を創る学び」を考える ～活動の持続・発展に向けて～	
	事例①	地域住民の参画による地域未来塾の取組 発表者／胆振管内洞爺湖町 野呂 圭一 氏	
事例②	地域住民の連携による青少年育成事業 ～「進メエ～！羊のまちの探検隊」の取り組み～ 発表者／上川管内土別市 工藤 雅史 氏		
第5	テーマ	「これからの図書館の在り方」を考える	
第6	テーマ	「これからの青少年教育施設の在り方」を考える	道立青少年教育施設関係職員等
第7	テーマ	「開講15周年を迎えた今後の道民カレッジ」を考える	道民カレッジ生等

※第5～7分科会参加者は、第1～4部会のいずれかの事例発表を聞いていただき、その後、各分科会の協議に参加していただきます。例)分科会第6、事例発表第2

(7) 全体会

各分科会での協議内容を共有します。

助言者 IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO 川北 秀人 氏

(8) シンポジウム「人口減少問題に対応した社会教育行政の在り方」

①対談

登壇者 IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO 川北 秀人 氏
夕張市教育委員会社会教育主事 木村 愛 氏

②特別講演

講師 IIHOE[人と組織と地球のための国際研究所]CEO 川北 秀人 氏

川北秀人氏プロフィール

1964年生まれ、大阪府出身。87年に(株)リクルートに入社し、広報や国際採用などを担当して91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立。市民団体のマネジメントや、企業の社会責任(CSR)への取り組みを支援するとともに、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進め、毎年約60の自治体で、職員や市民との合同研修を担当。

9:30		10:00	10:15	10:45	11:30	12:00	13:00	14:30	17:00
第1日目 2/16 (木)	受付	開 会	(1) 説明・ 報告	(2) 講義	(3) 報告	昼食・ 休憩	(4) 事例研究	(5) 分科会	
9:30		11:00		11:30	12:40		15:00		
第2日目 2/17 (金)	(6) 分科会			(7) 全体会	昼食・ 休憩	(8) シンポジウム		閉会	

※ 宿泊先、食事等は各自で対応をお願いします。

※ 本研修会は、「道民カレッジ連携講座(ほっかいどう学コース:10単位)」として実施します。

・1日目のみの参加は6単位、2日目のみの参加は4単位を認定します。

8 パネル・資料展示について

(1) かでるホール前にて、各市町村及び各施設等のパネル・資料展示を行います。展示を希望される方は、下記担当宛に御連絡ください。

※ 展示の準備については、前日(2/15)の15:30から行う予定です。

9 参加申込み・お問い合わせ

(1) 別紙の「参加申込書」に必要事項を記入の上、下記に郵送、FAX、E-mail、でお申込みください。

(2) 開催要項及び参加申込書は、当センターホームページの生涯学習推進センター情報より、ダウンロードすることができます。(https://manabi.pref.hokkaido.jp/)

(3) 申込み締切 **2月8日(水)**

10 その他

(1) 道民活動センタービル「かでる2・7」の入口解錠は、朝8:30からとなりますので、御承知おきください。

(2) 会場で撮影した写真、協議内容等は、本研修の記録として、報告書及び当センターホームページで使用する場合がございます。予め御了承ください。

◇ 申込み・お問い合わせ先

北海道立生涯学習推進センター(担当 川森・久保・渋谷)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目道民活動センタービル「かでる2・7」8階

TEL 011-231-4111(内線:36-326) / FAX 011-261-7431

E-mail: kensyu@manabi.pref.hokkaido.jp